

はやいもので、もう1周年

みんなで食べる楽しい給食!



「中学校でも温かい給食を食べたい」というたくさんの声を受けて、昨年9月から始まった「温かい中学校給食」が1周年を迎えました。法規制や設備の改修工事など、さまざまな課題をクリアして始めることができました。これからも子どもたちに安心・安全でおいしい給食を提供していきます。

☎ 教育総務課 学校教育班 ☎(内線)3613

1年間に中学生が食べた給食は
のべ178,598食

- ・米 約12トン
- ・ニンジン 約4トン
- ・タマネギ 約5トン

おいしい給食のために試行錯誤

温かい料理だけでなく、サラダなどの冷たい料理は冷たいまま提供できるように試行錯誤しています。また、小・中学校で統一して「食育」ができるようになったことは、大きな成果だと思います。給食を題材に学びの場となる機会が増えて、とてもうれしいです。



中津第二小学校
栄養教諭 田邊祥子先生

給食で好き嫌いが克服!

お弁当だと、つつい子どもの好きな物ばかり入れてしまうので栄養バランスが心配でしたが、給食が始まったことで、心配がなくなりました。子どもが給食の感想を話してくれるので、家での会話が増えました。



中学生保護者 小林夏子さん

給食は生徒たちの元気の源

子どもたちはとても給食を楽しみにしていて、その日の献立のチェックを欠かさない生徒も多いです。また、給食を食べた生徒が配膳員さんに「おいしかったです。ありがとうございます」とお礼を言っているのを見て、ちょっと感動しちゃいました。



愛川中原中学校 橋本彩愛先生

◆ 中学校給食の歩み

- 昭和43年** 牛乳のみを提供する「ミルク給食」を開始。
- 平成17年** お弁当を持参できない生徒に向けて「業者弁当注文配送方式」を導入。利用率が低く、平成20年3月に終了。
- 平成21年** 完全給食を望む声を踏まえ、「デリバリー弁当箱方式」による給食を開始(弁当の持参も可)。

◆ 従来の給食の課題

デリバリー方式では、給食を冷却して中学校まで運んでいたため、生徒からは「冷たい」などの意見があり、利用率は約3割となっていました。また、保護者からは「共働きで、子どものお弁当を作るのが大変」などの意見もあり、小学校のような給食を望む声がありました。

◆ 「温かい中学校給食」実現に向けた取り組み

課題のクリア

① 実施方式の検討

生徒数の動向や整備費用を比較した結果、小学校の給食室で中学校分も作る「親子方式」に決定。

② 法的な課題

小学校の給食室で中学校分の給食も併せて作る場合には、建物用途が「工場」として判断されます。このため、都市計画法や建築基準法などの制約がありましたが、県とおよそ2年間にわたって協議を続け、特例として許可を受けることができました。

- 整備体制の
- 給食配送用コンテナ搬出口の改修(小学校)
 - 調理機器・備品の増設(小学校)
 - コンテナ搬入口の改修(中学校)
 - 食器・食缶、コンテナなどの備品購入(中学校)



おいしい!
めっちゃ
アツアツで

